



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 高砂鐵工株式会社

コード番号 5458 URL <http://www.takasago-t.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大植 啓一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 畑田 正樹

TEL 03-5399-8111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,995	1.3	298	179.0	226	472.6	181	△22.3
26年3月期第2四半期	4,932	△1.3	107	—	39	—	233	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 196百万円 (△16.3%) 26年3月期第2四半期 234百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	6.03	—
26年3月期第2四半期	7.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	9,870	1,514	15.3	50.44
26年3月期	9,472	1,309	13.8	43.59

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,514百万円 26年3月期 1,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△2.1	490	56.1	360	102.2	300	△5.4	9.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	30,080,000 株	26年3月期	30,080,000 株
27年3月期2Q	50,314 株	26年3月期	50,266 株
27年3月期2Q	30,029,713 株	26年3月期2Q	30,030,458 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済・金融政策の効果などにより、企業収益や雇用環境に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税増税の影響、為替相場の急激な変動、それに伴う原材料・エネルギー価格の動向など不確定な要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

鉄鋼業界におきましては、消費税増税影響は想定よりも小さく、自動車向けや建築・土木向けなど国内中心に鋼材需要は底堅く、国内粗鋼生産は堅調に推移いたしました。

このような経済状況の中で、当社グループは、鉄鋼製品事業において、みがき帯鋼事業およびステンレスエンボス製品、加工品事業に集中する事業体制の下で特長商品・サービスの拡充・拡販とコスト削減に取り組んでまいりました。主力であるみがき帯鋼において主要需要先である自動車部品向け販売が順調に増加したのに加えて、ステンレスにおいてもエンボス製品等の販売数量が伸び全般的に堅調に推移いたしました。固定費・原料費等の継続的なコスト削減も相まって、採算は大きく改善し、営業利益と経常利益はともに前年同期比大幅な増益を達成しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,995百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益298百万円（前年同期比179.0%増）、経常利益226百万円（前年同期比472.6%増）、四半期純利益181百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は9,870百万円となり、前連結会計年度末より397百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、ならびに商品及び製品と原材料及び貯蔵品のたな卸資産等の増加によるものです。

負債総額は、8,355百万円となり、前連結会計年度末より192百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。なお、短期借入金の長期性資金への借り換えに伴い、短期借入金が減少し社債と長期借入金が増加しております。

純資産につきましては、1,514百万円となり前連結会計年度末より205百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の当四半期における修正につきましては、平成26年10月29日発表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。また、個別業績予想の当四半期における修正につきましてもあわせてご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法につき期間定額基準を継続適用するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が9百万円減少し、利益剰余金が9百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,213	1,349
受取手形及び売掛金	2,672	2,775
商品及び製品	418	569
仕掛品	376	373
原材料及び貯蔵品	267	377
繰延税金資産	13	3
その他	34	44
貸倒引当金	△47	△3
流動資産合計	4,947	5,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,291	1,250
機械装置及び運搬具(純額)	2,373	2,293
土地	489	489
その他(純額)	57	53
有形固定資産合計	4,212	4,087
無形固定資産		
無形固定資産	76	70
投資その他の資産		
投資有価証券	100	100
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	74	64
その他	95	93
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	235	221
固定資産合計	4,524	4,380
資産合計	9,472	9,870

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,146	2,641
短期借入金	4,100	1,676
リース債務	85	83
未払法人税等	3	18
未払消費税等	39	39
賞与引当金	51	55
その他	278	488
流動負債合計	6,705	5,002
固定負債		
社債	—	1,000
長期借入金	66	994
リース債務	365	324
繰延税金負債	4	3
役員退職慰労引当金	79	88
退職給付に係る負債	828	827
資産除去債務	31	31
その他	81	81
固定負債合計	1,457	3,352
負債合計	8,163	8,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	△140	50
自己株式	△6	△6
株主資本合計	1,357	1,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	3
退職給付に係る調整累計額	△52	△36
その他の包括利益累計額合計	△48	△33
純資産合計	1,309	1,514
負債純資産合計	9,472	9,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,932	4,995
売上原価	4,345	4,249
売上総利益	587	746
販売費及び一般管理費	480	448
営業利益	107	298
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
為替差益	8	0
その他	8	9
営業外収益合計	17	10
営業外費用		
支払利息	77	57
社債発行費	—	20
その他	7	6
営業外費用合計	85	83
経常利益	39	226
特別利益		
固定資産売却益	261	—
特別利益合計	261	—
特別損失		
固定資産売却損	20	—
固定資産除却損	41	—
訴訟和解金	—	9
特別損失合計	62	9
税金等調整前四半期純利益	238	216
法人税、住民税及び事業税	0	16
法人税等調整額	4	19
法人税等合計	5	35
少数株主損益調整前四半期純利益	233	181
四半期純利益	233	181

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	233	181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△0
退職給付に係る調整額	—	15
その他の包括利益合計	1	15
四半期包括利益	234	196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234	196

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。